

委員会審議

文教民生常任委員会

《主な審議事項》

町民の諸証明、国民健康保険、介護保険、医療、予防接種、各種検診、社会福祉、児童福祉、母子保健、保育、子育て支援、人権、水道事業、環境衛生、学校教育、社会教育、生涯学習、学校給食関係

問

多子世帯支援事業で700万円計上されているが、その内訳の説明を。

答

目的としては、地方消費の拡大、地域経済の活性化で、少子化対策も踏まえて、子供が3人以上いる世帯に対して、お買い物券を配布する事業である。

問

多子世帯に配布するお買い物券にプレミアムはつづくのか。

答

お買い物券の配布は、あくまでも地方創生の中で交付される交付金の使途の一つとし

問

て配布されるものなので、プレミアムはつかない。

問

伊奈町ふれあい活動センターの設置及び管理条例の一部を改正することにより、センターの休館日を変更する可能性はあるか。

答

休館日は、今までと変わらず火曜日である。

問

伊奈町地域包括支援センターの運営と基準に関する条例で、中学校区を1つにしてという方法が出されていたと思うが。

答

学校区や高齢者人数は判断基準に含まれていない。今回の基準は6000人で、それ以上は2000人ごとに1人ずつふやしていく基準を設定している。



4月2日に開所された小針北放課後児童クラブ

表彰

全国町村議会議長会表彰 及び感謝状

全国町村議会議長会会長より、議員として15年以上在職しその功績により、村山正弘議員と青木久男議員が表彰されました。また、村山正弘議員は、埼玉県町村議長会役員退職にあたり、感謝状が贈呈されました。

全国町村議会議長会表彰



青木久男議員



村山正弘議員